

シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE21001	
科目名	医学史	
科目名(英語)	Medical history	
授業形態	講義	
標準履修年次	1年次	
実施学期・曜時限等	秋学期 A, B 月曜 2限	
使用教室	3A403	
単位数	1単位	
担当教員名	菅野幸子、高橋 智、長田道夫、森川一也、渋谷 彰、加藤光保、高橋伸二、兵頭一之介、磯辺智範、市川政雄	
使用言語(☑してください)	☑日本語・☐英語・☐バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)		
オフィスアワー等	特になし。個別に連絡すること	
学位プログラム・コンピテンスとの 関係	汎用	4.広い視野と国際生
	医療	1.医療人としての倫理性と人間性
	国際	1.生命科学の倫理と人間性
授業の到達目標 (学修成果)	<p>本授業を受講すると以下のことについて理解し説明できるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療の原点としての古代の思想と哲学 2. 解剖学と病理学の発展に寄与した主要な業績と学説およびその意義 3. 免疫学と微生物学の基礎となった主要な発見とその意義 4. 癌に対する考え方の変遷と治療的進歩 5. 麻酔、放射線の黎明とその医学への寄与 6. 疫学の医療への貢献 	
他の授業科目との関連	医学の基礎として多くの関連分野の意義や進歩の理解を促す	
履修条件	筑波大学生であること	
授業概要	<p>歴史は現在を理解する礎である。医療(学)史は、医学を学ぶものの基礎教養科目であり、人類が、病気という脅威とどのように対峙してきたかというドキュメントでもある。</p> <p>歴史的発見や時代を背景とした学説などを通して、医療の本質と現代医療の礎を理解する。</p> <p>講義では、まず古代に遡り思想としての医学の発祥から人間における医学の意味を考える。続いて、近代医学の基礎となった解剖学、病理学、微生物学、免疫学の発展に寄与した発見や学説について理解する。さらに近代最大の脅威である癌および外科学の進歩に大きく寄与した麻酔学の歴史について理解を深め、最後にこれらの医学の発展を医療として具現するための医療制度の歴史について学ぶ。</p>	

キーワード	医学と医療の黎明、歴史、疾患概念																																	
授業計画	<p>いずれの教員もそれぞれの分野の専門家として、筑波大学で教育や研究あるいは診療に実務経験がある。</p> <p>10回の講義はオムニバス形式で、医療史という視点から医学の基礎を学ぶ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">授業内容（概要、回数、担当教員等）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月7日（月）</td> <td>医学の原点としての古代医学（菅野）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月18日（金）</td> <td>解剖学の歴史（高橋智）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月21日（月）</td> <td>病理学の歴史（長田）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月28日（月）</td> <td>免疫学の歴史（渋谷）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月6日（水）</td> <td>癌の発見と研究の歴史（加藤）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月18日（月）</td> <td>疫病と微生物学の歴史（森川）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月25日（月）</td> <td>癌治療の歴史（兵頭）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12月2日（月）</td> <td>近代外科の夜明けと麻酔の歴史（高橋伸二）</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12月9日（月）</td> <td>放射線の発見と医療への応用（磯辺）</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12月16日（月）</td> <td>疫学の夜明け（市川政雄）</td> </tr> </tbody> </table>	授業内容（概要、回数、担当教員等）			1	10月7日（月）	医学の原点としての古代医学（菅野）	2	10月18日（金）	解剖学の歴史（高橋智）	3	10月21日（月）	病理学の歴史（長田）	4	10月28日（月）	免疫学の歴史（渋谷）	5	11月6日（水）	癌の発見と研究の歴史（加藤）	6	11月18日（月）	疫病と微生物学の歴史（森川）	7	11月25日（月）	癌治療の歴史（兵頭）	8	12月2日（月）	近代外科の夜明けと麻酔の歴史（高橋伸二）	9	12月9日（月）	放射線の発見と医療への応用（磯辺）	10	12月16日（月）	疫学の夜明け（市川政雄）
授業内容（概要、回数、担当教員等）																																		
1	10月7日（月）	医学の原点としての古代医学（菅野）																																
2	10月18日（金）	解剖学の歴史（高橋智）																																
3	10月21日（月）	病理学の歴史（長田）																																
4	10月28日（月）	免疫学の歴史（渋谷）																																
5	11月6日（水）	癌の発見と研究の歴史（加藤）																																
6	11月18日（月）	疫病と微生物学の歴史（森川）																																
7	11月25日（月）	癌治療の歴史（兵頭）																																
8	12月2日（月）	近代外科の夜明けと麻酔の歴史（高橋伸二）																																
9	12月9日（月）	放射線の発見と医療への応用（磯辺）																																
10	12月16日（月）	疫学の夜明け（市川政雄）																																
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法																																		
単位取得要件	授業に出席し、試験に合格すること。																																	
成績評価方法	出席と学期末試験で評価する。																																	
教材・参考文献・配付資料等	<p>適宜資料を配布する。</p> <p>参考図書【医学の歴史】梶田 昭著 講談社学術文庫</p>																																	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	<p>医学群の学生には選択科目であるが、先端の医学が進歩した基盤を広く学ぶという医学史の意義を理解すること。</p> <p>他学学生で医学の分野に興味を持つもの受講も歓迎する。</p> <p>医学の基礎知識は特に必要ではない。</p>																																	